



“ジュネーブから今を見る” 今日のヘッドライン

北米

2017年9月13日

メキシコペソのこれからを占う、3要因

メキシコペソは2017年の年初から概ね、上昇傾向が続いています。今後の動向を占う上で注目が必要な要因は金融政策、通商交渉、大統領選挙の3つと見ています。

メキシコペソ:2017年年初から概ね上昇傾向を維持

メキシコペソの対ドルレートは2017年9月12日終値で1ドル=17.7ペソ台となっています。ペソは2017年年初から対ドルで上昇傾向となり、7月以降は17ペソ後半で上昇一服、横ばいの動きとなっています(図表1参照)。

どこに注目すべきか:

政策金利、NAFTA、原産地規則、MORENA

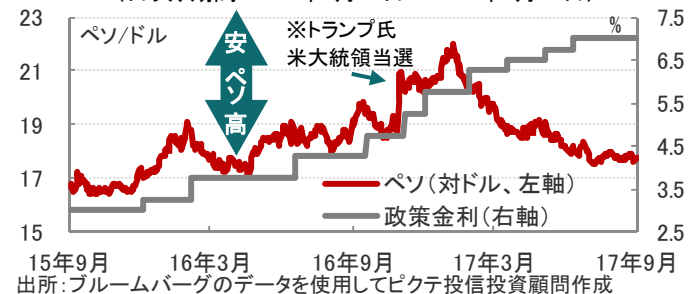
メキシコペソの今後の動向を占う上で注目が必要な要因は金融政策、通商交渉、大統領選挙の3つと見ています。各要因の注目点は次の通りです。

まず、金融政策ですが現在のメキシコの政策金利は7.00%と主要先進国の中では「高金利国」とも言える水準です。米国の利上げに伴い2015年12月から利上げを開始しました(図表1参照)。メキシコのインフレ率は6%台と高水準で推移していること、先行き不透明ながら米国も利上げを模索していることから、メキシコ中銀も引き締め姿勢を維持する可能性が高く、当面はペソ高を支える要因と思われます。なお、ペソと政策金利の動向を見ると、利上げ後もペソ安の時期が見られます。その背景の一つが次の通商政策と見られます。通商政策とは、例えばNAFTA(北米自由貿易協定)の再交渉です。米国のトランプ大統領は選挙戦中にNAFTAを「史上最悪の通商協定」と舌鋒鋭く批判するなどメキシコには厳しい姿勢でした。トランプ大統領当選後、ペソは大幅安となりました。しかし、トランプ大統領は就任後、現実的な貿易政策の着地点を模索する姿勢を示したことがペソの上昇に寄与したと見られます。NAFTA再交渉は既に8月と9月に1回行われましたが内容はお膳立てだったようです。3回目は9月後半で、年内合計7回協議が行われる予定です。これまでの交渉では米国から厳しい要求は提案されていないようですが、今後厳しい要求が明確となるかもしれません。例えば、メキシコから米国への自動車輸出の関税がゼロとなる条件である原産地規則の厳格化が懸念されます。現在なら日本等から部品

をメキシコに輸出、現地で組み立て、米国に輸出しても域内通達が一定割合あれば非課税ですが、これを厳格化、米国部品を一定割合含めるなどの無茶な要求も想像されます。NAFTA再交渉はこれからの本番で、交渉の行方に注目です。メキシコでは2018年7月に大統領選挙が予定されているため、NAFTAは実質的に交渉期限が限られているうえ、選挙の行方が不透明な点が気になります。現職のペニャニエト大統領が属する制度的革命党(PRI)の支持率は低迷、国家再生運動(MORENA)はアンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール氏(通称AMLO)を事実上の候補として優位に立っています(図表2参照)。もっともPRIは中道右派の国民行動党(PAN)と連立して、そりが合わない左派のMORENAに対抗すると見られます。MORENAはペニャニエト大統領が進めてきたエネルギー改革など市場が評価した政策に反対の姿勢です。AMLO氏が選出される可能性は高くないとは思われますが注意は必要です。

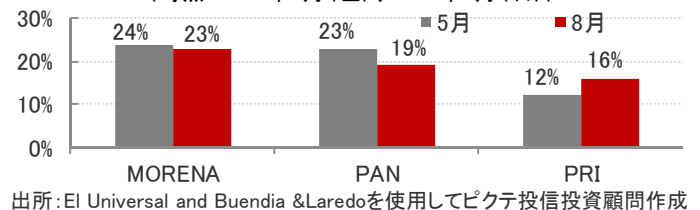
図表1:メキシコの政策金利とペソ(対ドル)の推移

(日次、期間:2015年9月14日~2017年9月12日)



図表2:メキシコの主要政党の支持率の推移

(時点:2017年5月(左)、2017年8月(右))



ピクテ投信投資顧問株式会社

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。